

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見
1 教育理念・目的・人材育成	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校の教育理念や育成人材像は開校当初より明確であり、学生便覧、学校ホームページ、学校案内等に明示されている。これらの理念等は学校説明会やオリエンテーション、保護者会等を通じて関係者に周知されている。社会の変化を速やかに教育に反映させるため、業界関係者等を構成員とする教育課程編成委員会を設置し、常に新しい情報を収集し教育カリキュラムや教育指導方法の改善を図っている。	本校は平成26年3月31日に文部科学省より9学科について「職業実践専門課程」の認定を受けた。今後はそれぞれの学科の業界連携教育をわかりやすい形に図にまとめるなどしてホームページ等で公開し、学校学科の特色を積極的に示して行きたい。	4.0	4.0	定めているかどうかは疑問だと考えます。理念、目的、育成人材像は学生便覧・学校HP・学校案内等に明示され、学校説明会・オリエンテーション・保護者会と連携を運じて関係者に周知され定められている。ビジョン、ミッションは明確で分かりやすい
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学生便覧には学科の教育目標、育成人材像、取得目標資格等が記載され、学生にも周知されている。カリキュラムの編成には、業界関係者の意見を反映させる仕組みができています。教員の採用に際しては職能団体等の協力を仰いでおり、学内講義・実習・行事等では業界関係者が直接指導して、業界の現状や求められる人材像などが学生に伝えられている。必修科目である学外実習では業界の現場体験が可能である。	継続的に教育課程編成委員会からの定期的な業界情報の収集と、キャリアセンター職員との業界情報収集を統合して各学科の教育に反映させる仕組み作りを取り掛かる。実践的な内容の教材作成について、業界との連携を図るため、職能団体等と協議を始めており引き続き継続していく予定である。	3.0	3.5	少子化への対応、臨床工学技士をアピールできる魅力ある企画をぜひお願いします。近年、業界ニーズの変化は早く大きい為、密接な関係構築が重要かと思えます。確かに適合は完全ではないが、入学時の見極めも重要かと感じます。職能団体等の協力を得て、学内講義・実習・行事等では業界関係者が直接指導して、業界の現状や求められる人材像などが学生に伝えられているので、人材ニーズに適合している。職能団体等と協議を引き続き継続していく事が大切。学生便覧に取得目標資格一覧があり、目指したい業界で必要な資格が分かりやすく記載されていると思いました。もっと合格率が上がるような取り組みをお願い致します。カリキュラムの改善がなされておらず、現場の現状との乖離が目立っている。
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	本校では卒業研究や海外研修プログラムなどの特色ある教育活動により、職業に直結した教育を展開している。	さらに特色ある内容の教育を充実させていく。	4.0	3.9	問題はないと思います。卒業研究や海外研修プログラムなどの特色ある教育活動により、職業に直結した教育を展開している。特色ある教育活動に取り組んでいると思う。ある学校で「卒業プロジェクト」をすすめていると聞いたことがあります。入学した生徒が10年後どのような人間になっているかを考えて、今何をすべきかで取り組んでいるようです。卒業研究や海外研修は、学生の良い経験になると考えますので、今後とも取り組んでいただきたいと思えます。卒業研究や海外研修が実学教育にどの程度プラスになっているのか、検証する必要があるのではないのでしょうか。
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか	中長期的な学校の将来構想は法人の5か年計画や事業計画に定めており、学校内の会議等で教職員に、また学生・保護者・業界関係者には学園新聞やホームページで周知している。	学校の将来構想については、より具体的にわかりやすく学校関係者に周知できるように努力を続ける。	4.0	3.9	業界の動向、先端技術の情報収集としているか、日刊工業新聞を毎日読ませるなど、就職できた学生、及び就職からのフィードバックはできているのか？聞いてみて、自分、学校のキャリアに足らなかったこと、新入社員のできていない点などを聞き出す。よく考えられていると思います。社員のニーズ等を踏まえた将来構想は、法人の5か年計画や事業計画に定めており、いたしている将来構想については、より付帯的に分かりやすく学校関係者に周知できるように努力を続けることは大切だと思う。情報発信は行っているが、それが十分伝わっているか疑問がある。
2 学校運営	2-2 運営方針 2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	本校の運営方針は教育理念や育成人材像をもとに設定されている。運営方針は毎年度作成される事業計画にも明示されているが、事業計画の作成には教職員の代表が委員会を作って作成にあたり、作成後は校内の会議を通じて周知を図っている。	運営方針は年度計画として毎年度検討され、文章にまとめられている。運営方針が記載されている事業計画書の書式は法人内で統一されており、10年以上にわたってほぼ同様の書式で作成しているため、姉妹校間で比較検討したり、過去の取り組みと比較することが容易である。	4.0	3.9	問題ないと思います。運営方針は教育理念や育成人材像をもとに設定されているので、定められていると思う。取り組みは十分と考えられる。
	2-3 事業計画 2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校法人大阪滋慶学園では中期計画として5か年計画を策定しており、各校はその計画に基づいて事業計画を策定している。5か年計画、単年度の事業計画とともに、学校教職員に対して会議等を通じて理解と共有を図っている。事業計画には年度目標(定量・定性目標)、予算、運営体制、職務分掌なども明記されている。	事業計画では5か年分の学生数を予測し、収支予算の計画も作成している。学校の経営基盤を安定させることが新しい取り組みにつながり、学校の発展に寄与することになる。	3.0	3.6	未達があるのであれば、改善はあると思います。事業計画に年度目標(定量・定性目標)、予算、運営体制、職務分掌など明記されていることに信頼できる。今後学校の経営基盤を安定させることは大切と思う。常に業界をトップクラスで進められており、時代の変化や新しい事柄に取り組んでおられると思います。計画し、実行されていることは評価できるが、関係者に周知をさせる工夫も必要では？
	2-4 運営組織 2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか 2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	法人の理事会、評議員会は規程に則り適正な運営がなされている。学校内の組織として教務部と事務部があり、それぞれ職務分掌を明確に定めて業務を行うとともに、会議等で情報を共有し、教職員全体チームで学校運営を行っている。	学園全体として、「人は財産」という考え方が徹底されており、研修を体系的に行っている。教員対象、事務職員対象、学科長対象、管理職層対象などの階層別研修や、教職員全体研修など目的に応じた様々な研修が実施され、教職員の資質向上を図っている。	4.0	4.0	問題ないと思います。学園全体として「人は財産」という考え方が徹底されておられるので、組織運営は適切に行われていると思うし、組織も整備されていると思う。十分評価できる。
	2-5 人事・給与制度 2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	人事関係では就業規則が整備され、育児や介護などの休業に関する規定をはじめ、働く人を支援する仕組みが出来上がっている。人材募集では法人のホームページを中心としてオープンな採用を行っている。基本的に人事関係は法人本部が統括しているので、問題なく運営されている。	教職員の人事考課は法人全体で共通の内容となっている。まず教職員各々が年間の自己目標に対する自己評価を報告し、それに基づいて一人ずつ上長面談が行われるので、単なる人事考課だけでなく振り返りと成長の機会となっている。	4.0	3.8	すばらしいと思います。点検表項目総括より、人事・給与に関する制度は整備されていると思う。人事考課は形骸化していないか見直しが必要である。
2-6 意思決定システム 2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校内の意思決定システムは整備されており、書類の流れや権限についても学内の会議・研修を通じて教職員に周知されている。これらは会議規定等に定められ、年間の事業計画の中にも明示されている。	教職員関係の書式は法人内で統一されている。	4.0	4.0	書式の統一だけで十分かは判断できかねる。特記事項より意思決定システムは整備されていると思う。評価できる。	

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見
2 学校運営	2-7 情報システム 2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学生の入学前から卒業後までのデータは、学校の基幹システムであるAS400によって管理されている。このシステムはサーバーと専用回線につながっておりセキュリティ面でも優れている。メンテナンスは提携している企業が一括管理している。	AS400はすでに20年以上利用しているシステムであり、現在より使いやすくデータ活用のしやすいシステムへ順次変更が行われている。今後、資料請求者のデータ入力や入学生管理のシステムから改良が始まり、出席・成績入力や就職関係などの変更が進められる予定である。	3.0	3.7	学校の基幹システムであるAS400は20年以上利用され、現在より使いやすいデータ活用のしやすいシステムへ順次変更が行われ、メンテナンスは提携している企業が一括管理していることで業務の効率化は図られていると思う。このシステムに関しては、20年以上使用されており、順次変更されているとの事ですが、なかなか進んでいないのかなという印象を受けました。更新の努力は評価できる。
3 教育活動	3-8 目標の設定 3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	各学科の教育目標、育成人材像は学校の理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」および学校の事業計画書を基本に、各学科でミッションおよび学科教育目標を策定し、具体的な教育目標と育成人材を明示している。 各学年での知識・技術・資格等の取得レベルと修得プロセスと評価方法を明文化している。	資格に対して委員会を組織し、体制整備や情報交換を行ない目標設定及びその達成に向け対策を講じている。	4.0	4.0	問題ないと思います。 点検表項目総括・特記事項により、目標の設定はできていていると思う。 ミッションはぶれておらず、継続されており、それに対する努力が感じられる。
	3-9 教育方法・評価等 3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか 3-9-3 キャリア教育を実施しているか 3-9-4 授業評価を実施しているか	教育課程の編成においては、関係各局や関連法規、業界・教育課程編成委員・学校関係者の評価、年2回のカリキュラムアンケート、定期・随時の学生面談など、学校内外の情報や評価をもとに必要な編成・改善を行なっている。	カリキュラムアンケートや講師会議、学生面談など授業評価を聴取し教員にフィードバック・学科内で共有するシステムが整っている。また、学科によっては地域でも最も歴史があり多くの卒業生を輩出している。その卒業生を通じて構築されたネットワークを有効に活用している。	4.0	3.9	素晴らしいと思います。 点検表項目総括・特記事項により、教育方法・評価等はできていると思う。 コアな関係者のみでなく、業界から広く意見を聞くべきである。
	3-10 成績評価・単位認定等 3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	各学科により成績評価の延長線上に、各国家試験や各資格試験が位置付けられている。学生は各科目の単位を履修することで、各国家試験や各資格試験の実力も併せておくことが、成績評価の意義でもある	各学科・各課程(昼間部・夜間部・専攻など)による学生の生活や学力に変化があるので、放課後、土曜日や日曜日に開催される補習や補講の計画や整合性を考慮していく必要が生じてくる。	4.0	4.0	問題ないと思います。 点検表項目総括・特記事項により、成績評価・単位認定等は適切に運用されていると思う。 多感な時代の生徒の対応が必要になっていると思います。より細かな指導(学力UP)をよろしくお願致します。 学生個人のレベルに合わせたフレキシブルな指導の充実をお願いします。
	3-11 資格・免許取得の指導体制 3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	各学科ともに国家試験受験対象学年の学生には、現在も同問題(古い問題は随時向水準問題に差し替え)で継続し続けている国家試験模擬試験(卒業認定試験と呼称)で定観測し分析している。 資格試験については過去問題集に頼っている感が強い。	各学科・各課程(昼間部・夜間部・専攻など)による学生の生活や学力に変化があるので、放課後、土曜日や日曜日に開催される補習や補講の計画や整合性を考慮していく必要が生じてくる。	3.0	3.4	学生に対しての学力のフォロー体制ができています。 ハイテク系学科のような必須の資格がない学科では、半ば強制的な資格取得をすべきではないか？ 危険物、工業英語検定、マイクロソフト関係ほどの企業でも選考にプラスになる。 合格率は改善されているものの、まだ課題はあると思います。 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけられていると思うが、資格・免許取得の指導体制は考慮していく必要があると思う。 資格があるということは、就職に非常に有利なので、重点を置いていただきたいと考えます。 国試対策は個人の苦手分野を把握し(欠点を解析し)、より個別の対応を取り入れていく必要があるのではないのでしょうか。
	3-12 教員・教員組織 3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか 3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の採用にあたっては、必要となる資格や業務経験などを書類や面接によって確認し、法令に定められた要件を守っている。	エンロールマネジメントに沿った入学前～就学中～卒業後のキャリアパスの考え方を浸透させている。	4.0	3.9	素晴らしいと思います。 教員・教員組織はできていると思う。 専門知識も豊富で、熱心に指導していただいていることに感謝しています。 教員の採用については、情報や資質を図るべく、面接方法の工夫や使用の設定などが必要ではないでしょうか。
	4 教育成果	4-13 就職率 4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職実績のある事業所との良好な関係を維持しつつ、常に業界のマーケティング調査を行い、新規の就職先も同時進行で開拓する事が大切。業界と学生のマッチング率を上げていくことで今後も就職率向上はもちろん、業界との信頼関係を構築していく事が重要。	学生が満足する就職は学生のニーズにあった就職先の確保と事業所が求める人材のマッチングにある。教務と連携を密にし、学生の希望、性格、能力等をキャリアセンターも把握し、教務と共に学生の満足度を上げる就職支援を実施する。	4.0	3.9
	4-14 資格・免許の取得率 4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	全校的な学校生活のなかで、年間を通してそれぞれの資格対策において、教職員はもとより、学生も個々の資格取得、高合格率の達成に向けた努力や意欲が見られるが、上下差の拡大傾向は免れない。そのようななかで国家試験合格や資格取得に関する目標を達成する工夫と対策に更なる講師の意識改革も含めた教育努力が必要と思われる。	各学科・各課程(昼間部・夜間部・専攻)による学生の生活や学力に変化があるので、放課後、土曜日や日曜日に開催される補習や補講の計画や整合性を考慮していく必要が生じてくる。	4.0	4.0	学生が満足できるカリキュラム・補習をぜひより詳しくお願いします。 合格率だけに目を向けると臨床家としての人間教育が深かにならない心配。 1-4にも通じるが、卒業生(=新入社員)が働いてみて困ったこと(学校では習わなかった等)のヒアリング、フィードバックができていますか？また、入社後数年で辞めた人がいる場合、その原因などを調べているか？ 体制は良いが、中身の改善は必要と感じる。 資格・免許の取得率の向上を図る為の努力はなされていることを認めます。 資格・免許の取得は最大目標・課題となりますので、一層の努力をよろしくお願致します。 今後更なる充実をお願いします。
	4-15 卒業生の社会的評価 4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	就職先については、定期的就業状況調査に加え求人票入手時や学外実習先依頼時やアンケートを通して、卒業生の在職・離職状況、役職など就業状態の把握に努めている。また、同窓会活動や学校イベントに協力していただいた卒業生に直接ヒアリングを行っている。	卒業生の就職先のデータベース化を行っている。卒業生の中には就業先や関係団体で高い評価を受け、相応の役職や役割を担っている者も出ています。また、卒業生には業界特別授業や講師、学校のイベントへの協力など様々な形で学校運営に関わっていただいている。	3.0	3.7	私は貴校の卒業生ではありませんが、造園学園卒業生は、当院でも活躍されています。特にハイテク系では、どんな就職先、どんな職種があるのか？学生は分りづらと思う。問題ないと思います。 私も卒業生です。何らかの形で関わってきたいと願います。 卒業生の社会的評価は、アンケートやヒアリング等で把握されている。 卒業生の更なる交流につながる仕組みづくりをお願いします。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見
5 学生 支援	5-16 就職等進路 5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	合同面接練習会を毎年実施しているが、他学科との共同開催をすることで就職への意欲付けや質付き、モチベーションの向上に繋がっている。また年々事前課題に対する学生の回答レベルも上がってきており練習会がより本番に近い内容の実施となってきた。	学内就職委員会を設置して、就職率向上のための対策や学生のモチベーション向上のために就職出陣式や業界特別講義を実施している。大学編入へのサポートや他国受給取得のための進学指導も実施。	4.0	4.0	素晴らしいと思います。 合同面接練習会を毎年実施され、就職等進路に関する支援組織体制は整備されている。
	5-17 中途退学への対応 5-17-1 退学率の低減が図られているか	将来への夢を持って入学した学生が一人も欠けることなく卒業しそれを支援することは専門学校としての責務である。中途退学の原因は学習不安、経済的困難、進路変更、生活習慣等さまざまである。	本校では、退学率を4%以下と目標を設定している。	4.0	3.9	努力はされていると思いますが、未達に終わっている。 中途退学の原因は、学習不安、経済的困難、進路変更、生活習慣等で減少されるのは非常に大変だと思いますが、努力されているのは素晴らしいと思う。 退学率は永遠の課題であり、本校も対話を大切にしており心のフォローをしています。 退学者が増加傾向にあるという説明が期になりました。各学科により理由が異なるかもしれませんが、モチベーションが持続できるような対策があればと思います。(特に学習不安者)
	5-18 学生相談 5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか 5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	本校は担任を中心に学生の様子や出席状況等を把握し、学生面談も実施しているが、状況や場合によっては事務職員が相談窓口となることもある。学校全体で連携・協力して学生支援を行えるよう十分なサポート体制を整えている。また、学生の身体面・精神面をケアするための学生相談所・クリニックもあり、学生が心身ともに健康で、充実した学生生活を送れるよう教職員とカウンセラー、医療スタッフが連携・協力して学生支援を行っている。	本校の教職員は必ず研修でカウンセリングスキルを習得しており、担任を中心に学生の悩みに耳を傾け、相談しやすい雰囲気を作ることを努めている。また、専門的な高度な知識と技術を持ったカウンセラーが常駐する法魔トータルサポートセンターを学生なら誰でも利用することができる。教育、心理的な立場から包括的に学生を支援する体制を整えている。	4.0	4.0	素晴らしいと思います。 点検表項目総括・特記事項により、学生相談・留学生に対する相談・体制はともよく整備されていると思う。 本校もスクール(心の)カウンセラーを設けて、生徒が自由に相談できるように取り組んでいます。カウンセラーの先生からもアドバイスを頂いています。
	5-19 学生生活 5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか 5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	独自の育英奨学金・待待生制度を設け、教育訓練給付金、アルバイト紹介、学費分納制度の設定など学生の総合的な経済的支援体制を行っている。健康管理については学校医である「慶生会クリニック」と連携して取り組んでいる。また、遠隔地から就学する学生のための学生寮も完備している。	設置学科が、昼間部・夜間部・専攻科・日本語学科と多様であるため、経済的支援や健康管理についても各人の状況に応じて対応している。学生寮には寮長・寮母が常駐しているため24時間体制でサポートを行い、緊急時の対応にも完備している。また、災害時等に備え、緊急時対応確認メール制度を導入している。	4.0	4.0	学生寮がよいです。 問題ないと思います。 学校生活において、経済的側面・健康管理・生活支援・課外活動に対する支援はしっかりと良く整備されていると思う。
	5-20 保護者との連携 5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	入学前・在学中の保護者会・個別懇談会の実施や年度始めに年間スケジュールの送付、前期・後期ごとに成績・資料等の送付をして、本校の教育理念、活動を理解して頂く機会を積極的に設けている。また、就職・国家試験準備保護者会を実施し、学生の状況に合ったサポート体制をとっている。学生生活の基本である学習習慣・生活習慣が重要となるため、担任・学科長・教務部長・学校責任者・事務局・キャリアセンターが連携して保護者と学生への個別対応等のサポート体制をとっているが、複雑化する問題に対してはより一層の連携の強化が必要だと考える。	本校では基本理念である3つの建学理念(実学・人間・国際教育)と4つの信頼(学生・保護者、業界、地域、高等学校)を基礎として、時代に即した職業人教育を行っている。また、入学前教育・キャリア設計(在学中)・キャリア開発(卒業後)と段階を得て、自己実現を目指す学生の支援体制を万全にしき、さらなる個々の状況に応じた教育支援体制をとれるように4つの信頼を深め、各業界や保護者とのより強い連携に努めている。	4.0	4.0	問題ないと思います。 点検表項目総括・特記事項により、保護者との連携体制はしっかりと構築されていると思う。 保護者が気軽に学校に来る機会があればよいと思います。(公開授業等)
5-21 卒業生・社会人 5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか 5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	本校の卒業生は全て卒業時に「ハイテク校友会会則」に明記された同窓会会員となり、卒業教育勉強会や学園新聞を通じて、会員の相互親睦やキャリアアップを図る機会を提供している。また、大阪滋慶学園・医療経営管理研究センター主催の業界セミナーやグループ校や滋慶医療科学大学院大学への進学、海外提携校日本校・姉妹校への入学など、卒業後の再教育プログラムを提供することで更なるキャリア形成を助けることに寄与している。 今後、増加が見込まれる社会人経験のある入学生や一部の国家資格試験不合格の卒業生についても、既取得単位認定や的確な教育カリキュラム・教育環境を提供することで更なる支援体制を確立したい。	本校の卒業教育勉強会は、学科が独自で企画・実施している勉強会であり、時代背景に即したテーマを設定している。そのため卒業生のキャリアアップのための有意義な場を提供することができる。また、キャリアセンターや図書室は必要に応じて卒業生にも開放しており、転職等の個別相談をはじめ、卒業後のキャリアアップに有効な場として利用されている。 また、国家資格系学科(臨床工学技士科・柔道整復師学科・鍼灸師学科)では、本校に必要な所定単位を履修した卒業生については、国家試験不合格となった場合でも、学科に応じて卒業後も継続的に教育支援を行っている。必要に応じた講義、日曜勉強会の聴講や模擬試験受験だけでなく、柔道整復師学科においては、国家資格対策センター主催のリ・スタートセンターに登録することで、滋慶学園8校と連携したICTを活用した定期的な模擬試験の受験や通学制国家試験対策講座の受講が可能となる。	4.0	4.0	素晴らしいと思います。 卒業生への支援体制、社会人のニーズを踏まえた教育環境はしっかりと丁寧に整備されていると思う。産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組まれていると思う。 卒業後の学校利用について宣伝が必要ではないでしょうか。	
6 教育 環境	6-22 施設・設備等 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	今年度は環境安全衛生委員会をフル活用し各校舎の設備管理を行い早期修理に力を入れた。教育に配慮し、施設設備の管理もしている。 毎月の定例会議で故障状況の報告も実施し、学生への配慮と必要な改修をスピードアップして対応している。法令順守を意識し短中長期的計画を策定し施設管理を行う。	校舎が9つあり、学生が勉強して以上で休み時間等に移動が発生するため、配慮した利用を常に考慮する必要がある。その為、奨学金の説明会などは配慮した実施を心がける必要がある。(本館・第2校舎の2箇所実施) また、学生の安全に配慮した設備運営を心がける。	3.0	3.7	移動時間。 設備は充実していると思う。 ロケットや製造業系は外部との連携が大切だと思います。 問題ないと思います。 施設・設備・教育用具等は整備されていると思うが、奨学金の説明会などは配慮した実施や学生の安全に配慮した設備運営を心がけることは大事だと思う。 隣校がせまいので、学生さんの多い時間は配慮が必要かと思いました。 設備としては充実していると思います。
6-23 学外実習、インターンシップ等 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、海外研修では、教育指導要領だけでなく、各学科に実施要綱やマニュアルがありそれを基に準備、実施、振り返りが行われている。 特に学外研修においては、業界の実際を知る機会、社会人となる自覚や責任、協調性を培うことの重要性を知る貴重な場となっており、十分な事前準備や必要指定要件を満たしている実習先を確保することが重要となる。また、海外研修は、アメリカ、中国の提携校と連携し、各学科にあったプログラムを実施し、グローバルな視野と感性を養う貴重な機会となっている。	学外実習では、医療系国家資格取得の資格要件を満たすための臨床実習や、出身高校への母校実習、卒業研究の一部としての学外実習、インターンシップ実習など、各学科の特性を活かした実習を行っている。臨床工学技士科、生命工学技術科では、実習前に枚章授与式を実施し、学外実習へ取り組む心構えを確認している。また、就職を見据え、学生の希望を反映した実習先を確保することで、実習先が就職先に繋がることも多く見られる。 海外研修では、1年次からの事前指導(英会話等の講義)や、研修中の予習・復習を通して研修プログラムをより有用なものとする工夫を行っている。	4.0	3.9	実習を受け入れていますが、よく教育がなされていると思います。 素晴らしいと思います。 海外研修は提携工と連携し、各学科にあったプログラムを実施し、グローバルな視野と完成を養う貴重な機会になっているので、学外実習・インターンシップ等の実施体制は整備されている。 海外研修については効果の評価をお願いします。	

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見	
6 教育 環境	6-24 防災・安全管理 6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	グループを通じて携帯できる「防災マニュアル」を作成し全学生・教職職員に配布し、防災体制の運営にあっている。また、災害時に備えての施設・設備などの安全管理(固定設置等)も行うと共に防災訓練(消防避難訓練)を全学生、教職員に対し実施要領と取り消防署の指導の基、実施している。	2年前より時期を早め毎年6月に全ての校舎で防災訓練を実施している。また防災訓練の参加者数を意識し、極力、学外実習導入時期を外しての実施計画としている。	4.0	4.0	問題ないと思います。 防災・安全管理は適切に運用されていると思う。 施設、設備でも気になる階段での訓練が日頃から行われていることは重要だと思います。	
	7-25 学生募集活動 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	本校は大阪府専修学校各種学校連合会に加盟し、ルールに基づいた広報活動を行い、適正に学生募集を行っている。また、オープンキャンパスや説明会の機会を十分に確保し、学校案内やホームページは広報スタッフが真実性・明瞭性に基づき作成し、それらを通して入学希望者に情報提供を行っている。	学生募集は、対象者別(高校生、大学生、短大生、専門学校生、社会人など)に活動を行い、各学科の定員の確保に努めている。また、入学までに資格取得のための勉強会や入学前授業を実施するプレスクールなど学生募集活動を入学前教育の一環として取り組んでいる。		4.0	3.9	臨床工学士の知名度を上げるためにも、宣伝広報をがんばってください。 早期対策が必須です。小中学生へのアプローチも必要では？ 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる。学生募集と適切かつ効果的に行っている。
7 学生 の 募 集 と 受 入	7-26 入学選考 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入試選考は、募集要項で明示した選考基準に基づき、公平かつ適正に選考を行っている。合否に関しては、入試判定会議にて各業界の適性を考慮して常務理事、事務局長、事務次長、事務部長、学科長が参加のもと判定を行っている。入試選考で得られた学生情報は、入学後の学習サポートやクラス運営に役立っている。	入試選考は多様化する社会情勢にあわせて、特別指定校推薦、適性AO、適性クラブAO、業界推薦、卒業生推薦、推薦、一般の種別を設け、選考を行っている。また、資料請求から来校、出願までの履歴をデータとしてまとめ、入学までの導線を把握している。さらにインターネットから出願できる「ネット出願」も導入している。	4.0	3.9	定員充足率を上げようとする、選考が甘くないか。その結果、語学力や読解力など基本的な知識のカリキュラムが必要になるのでは、合格率は開示しているのか？ 中途退学が出てきたら、厳しい判断を求めます。 入学選考基準を明確化し、適切に運用されている。入学選考に関する実績を把握し、授業、改善等に活用されていると思う。	
	7-27 学納金 7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	社会情勢を踏まえ、毎年、学納金については見直しを行うとともに、入学前のオープンキャンパスの段階で奨学金や教育ローンの情報を提供するなど学費相談も個別に対応している。学納金の明細・内訳も提示し、追加徴収は行っていない。また、入学辞退者に対しての授業料の返還については募集要項に記載し、適切に対応している。	AS400システムで学納金データを管理しており、銀行等からの入金情報がタイムリーに把握できるようになっている。また、経理担当と連携して入金状況の確認を行い、学費相談者や入学辞退者についても情報を共有して一人ひとり対応にあっている。		4.0	4.0	問題ないと思います。 経費内容に対応し、学納金を算定している入学辞退者に対し、授業料等について適切な取り扱いを行っていると思う。
	8-28 財務基盤 8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	資金を増加させて安定な学校運営をしていくためには、過去の分析とともに将来の分析も必要となる。そのためには過去と将来の資料を分析して学生数の増加による収入の増加及び、経費の見直しを図って資金を増やしていくことが必要となる。その情報と推移は、適切に分析と把握が行なわれていると考える。	学生数の増加のために広報活動にも影響を与えるので、そのための定期的な会議や打ち合わせを行なっている。		4.0	4.0	判断がつきません。 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定していると思う。学校及び、法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析は行われていると思う。
8-29 予算・収支計画 8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	年度予算、中期計画は毎年3月に作成し承認を得る事業計画の中に組み込まれて作成される。中期計画を見据えて年度予算が立てられるので、論議した方向へ進まないようにしている。	予算の執行状況は、理事長、常務理事、事務局長(予算執行責任者)が目を通し、改善を図っている。		4.0	4.0	問題ないと思います。 予算・収支計画は策定していると思う。予算及び計画に基づき、適正に執行管理は行われていると思う。	
8 財 務	8-30 監査 8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	財務体制の強化を図るために監事の監査に加えて公認会計士監査も積極的に受けている。監事の監査は業務監査と会計監査、公認会計士監査は会計監査が行なわれるので、両者の効率的な実施のために監事と公認会計士との連携及び監査スケジュールを組んでいる。	学校、監事、公認会計士の財務上の指導を受けるために、ミーティングを設けている。	4.0	4.0	問題ないと思います。 監査は公認会計士に監査を積極的に受けていて、適切に監査を実施していると思う。	
	8-31 財務情報の公開 8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	平成17年の私立学校法改正に伴い、専修学校にも財務情報の公開が義務付けられたが、その改正を取り入れ、財務情報公開の体制を整えた。当初は閲覧の対応であったが、現在はホームページにも公開している。	資金収支、消費収支、貸借対照表、財産目録及び事業報告書について閲覧可能としている。		4.0	4.0	問題ないと思います。 財務情報の公開は適切に運用されていると思う。
	9-32 関係法令、設置基準等の遵守 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	本校は厚生労働省管轄の国試系学科を含む複数の学科を擁しており、手続きや報告等は所轄官庁の指導に基づき適切に行われている。教職員に対しては、就業規則などの諸規定を整備し、会議や研修でコンプライアンスを守ることの意義についても指導している。学生に対して「関連法規」や就職指導の授業内で法令・ルールの遵守や倫理について指導を行っている。	法令遵守や各種規定の整備、相談窓口の設置などは法人全体として取り組んでおり、ステークホルダーに対する責任を果たしている。		3.0	3.7	教職にかかわる労働は、特に対人との仕事になるので、メンタルのケアもぜひ強化してください。 コンプライアンスは基本であり、評価が引になる理由がわからない。 学生に対して、社会適応や就職後のコンプライアンス遵守についての教育を行っているか。SNSへの安易な書き込みなども、問題ないと思います。 点検表項目総括・特記事項により、関係法令・設置基準等の遵守・適正な学校運営は行われていると思う。 倫理的問題については常に気を配り、指導を行う必要があると思います。
9 法 令 等 の 遵 守	9-33 個人情報保護 9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学生への指導の徹底を行っているが「リテラシー」なども絡めながら継続的な指導が重要。全体会議や事務局会議などを通じて教職員に対しての研修、勉強会による啓発活動は実施している。	本校では毎年6月にかけて各校舎に保管されている個人情報状況確認を行い、個人情報保護台帳を作成している。 また、CPAの個人情報保護の資格を毎年更新して意識付けを図っている。	4.0	4.0	問題ないと思います。 学校が保有する個人情報保護に関する対策は、CPAの個人情報保護の資格を毎年更新して意識付けを図っているため、対策は実施されている。	
	9-34 学校評価 9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 9-34-2 自己評価結果を公表しているか 9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	本校では平成23年度より毎年自己評価報告書を作成している。作成にあたっては全教職員がそれぞれの業務に応じて参画しており、業務の振り返りを行うことで学校運営の改善に役立っている。自己評価報告書は学校関係者評価とともに学校ホームページで公開されている。	本校では平成25年度より学校関係者評価委員会を設置し、在校生保護者、卒業生、地域代表、業界代表などの委員による学校関係者評価を実施した。その結果については学校ホームページに掲載し、公開されている。学校関係者評価委員会からの評価により、学内の改善点が明確となり、学校運営に良い影響を与えている。		4.0	4.0	素晴らしいと思います。 自己評価・学校関係者評価の実施体制を整備し、評価は行われている。学校関係者評価結果を公表されている。
	9-35 教育情報の公開 9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要や各学科の教育内容等については、学校ホームページに公開されている。教育指導体制や教育システムの情報とその成果である退学率や国家試験の合格率などの情報についてもすべて学校ホームページにおいて公表されている。	平成26年度からスタートした職業実践専門課程の認定を受けたことにより、さらに情報公開を進めることができた。		4.0	4.0	問題ないと思います。 教育情報に関する情報公開を積極的に行われている。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見
10 社会 貢献	10-36 社会貢献・地域貢献 10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	社会貢献・地域貢献はある程度できているが、もっと広い視野を持ち活動を行える環境整備が必要である。 国際交流は盛んに行われている。今後は情報の発信力を高めることにより、もっと良いものとなるだろう。	アジア諸国との連携は進んでいる。 臨床工学技士科は特に海外進出が進んでいる。	4.0	3.9	国際化に伴い、中国留学生の受け入れなど、先進的な取り組みをされていと感じます。 柔道投擲業界でいうと不十分かもしれない。 国際交流が盛んに行われ、アジア諸国との連携を進んでいて、社会貢献は行われている。地域のまわりにボランティアで参加し、地域貢献も行われている。
	10-37 ボランティア活動 10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	本校では、学外実習の形でボランティア活動を行うことが多く、実学教育と人間教育がその根拠となっている。ボランティアに関する啓発活動は人間教育の一つと考え、その活動は推奨されている。	本校では学外実習や業界ボランティア活動など積極的に行っている。 業界連携として学会支援や、スポーツ系イベントの支援・トレーナー活動、ロボット工作教室の支援も行っている。近年は毎年「クリーン大阪」に教職員・学生共に参加し、大阪府専修学校各種学校連合会から依頼され、東北でのマツサーズボランティアに教職員・学生共に派遣した	4.0	4.0	素晴らしいと思います。 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援も行われている。

2. その他、ご意見等。

・大阪(関西)圏においても、滋慶学園の規模の大きさに驚かされます。これも、卒業生や教職員の皆様の努力の成果であると思います。臨床工学技士の立場から、業界と学校が協力して優秀な学生を育てていただき、我々の職種・職域を発展させることが出来ればと思います。よろしく願いいたします。

・留学生が多いということを企業へのPRに使っているか？外国人の目から見た意欲が欲しい場合があるので、企業と連携して、サービスや商品について意見交換できるようにできないか？

・商品開発ができる人材が欲しい。例えば、食品会社では商品開発には様々な知識・経験・スキルがひつようだが、料理学校では料理方法しか勉強しない。また、料理研究家の人は、企業に向けておらず独りよがりな点が多く使えない。

・働き始めて一番つらく感じるのは、休憩時間がほとんどないことだと思う。フルタイム勤務、立ちっぱなしのでの仕事についてどの程度、学生が理解しているのか？

・文章力、読解力が不足しているのは強く感じる。仕事では、パンフや説明書、HP、商品パッケージなどの様々な面で国語力が求められる。実際の題材を企業から提供してもらうなどして、版下校正などをさせてみてはどうか？

・少し評価の難しい項目もありますが、全体的に取り組まれていることは素晴らしいと思います。

・実学教育、人間教育、国際教育の理念に沿った教育、学校運営、支援ができ適切に行っていると感じました。特に今後は、グローバル社会に対応すべく、海外におけるインバウンド、アウトバウンドで活躍できる人材育成に期待いたします。

・いつもお世話になり、ありがとうございます。

本校卒業生が高校に来てよく話を聞きますが、とても喜んで学校に通っているとのことです。
毎回来るたびに成長する姿を見てとても喜んでいきます。感謝しております。
これからもよろしく願い致します。